

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(耐震性についての計算書:ディーゼル発電設備)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別, 目録番号	図書名称	該当頁					
1	2022/2/16	NS2-添2-010-02	耐震(計算書)(VI-2-10-1-2-1-1)	VI-2-10-1-2-1-1 非常用ディーゼル発電設備ディーゼル機関及び発電機の耐震性についての計算書	P.18,20	図5-1の計算モデル(軸直角方向転倒)について、機関回転によるモーメントの作用の有無及びそれを踏まえた式(5.4.1.1.1)の妥当性について説明すること。	2022/5/11	図5-1について、基礎ボルトの評価においてはディーゼル機関回転によるモーメントと発電機回転によるモーメントが打ち消し合うため、評価としては式(5.4.1.1.1)を適用するのは妥当です。なお、ディーゼル機関回転によるモーメントが作用しない対象が図5-2のみという記載になっていたため、図5-1も対象に追加しました。	NS2-添 2-010-02改01「VI-2-10-1-2-1-1 非常用ディーゼル発電設備ディーゼル機関及び発電機の耐震性についての計算書」P.18 NS2-添 2-010-11改01「VI-2-10-1-2-2-1 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備ディーゼル機関及び発電機の耐震性についての計算書」P.18	
2	2022/5/11	NS2-添2-010-02	耐震(計算書)(VI-2-10-1-2-1-1)	VI-2-10-1-2-1-1 非常用ディーゼル発電設備ディーゼル機関及び発電機の耐震性についての計算書	P.18	ディーゼル機関の基礎ボルトに対する引張力の検討について、ディーゼル機関回転によるモーメントは作用しないとしている理由を説明すること。	2022/8/29	ディーゼル機関の回転によるモーメントと反駆動側である発電機の回転によるモーメントが釣り合い、各々の反力が相殺されるため基礎ボルトに作用しない旨を追記しました。	NS2-添2-010-02改02「VI-2-10-1-2-1-1 非常用ディーゼル発電設備ディーゼル機関及び発電機の耐震性についての計算書」P.18 NS2-添2-010-11改02「VI-2-10-1-2-2-1 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備ディーゼル機関及び発電機の耐震性についての計算書」P.18	

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(耐震性についての計算書:ディーゼル発電設備)

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
No.1～No.24は、NS2-他-118改01で整理済みのため省略。						
25	NS2-添2-010-02 改03	VI-2-10-1-2-1-1 非常用ディーゼル発電設備ディーゼル機関及び発電機の耐震性についての計算書	P.9	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)1質点系振動モデルと考える。 (新)1質点系振動モデルとする。	2023/3/3	
26	NS2-添2-010-02 改03	VI-2-10-1-2-1-1 非常用ディーゼル発電設備ディーゼル機関及び発電機の耐震性についての計算書	P.11	荷重の組合せ方法を明確にするため、以下のとおり記載を修正しました。(下線部参照) (旧)に対して水平方向及び鉛直方向から作用するものとする。 (新)に対して水平方向及び鉛直方向から個別に作用させる。また、水平方向及び鉛直方向の動的地震力による荷重の組合せには、絶対値和を適用する。	2023/3/3	
27	NS2-添2-010-11 改03	VI-2-10-1-2-2-1 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備ディーゼル機関及び発電機の耐震性についての計算書	P.9	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)1質点系振動モデルと考える。 (新)1質点系振動モデルとする。	2023/3/3	
28	NS2-添2-010-11 改03	VI-2-10-1-2-2-1 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備ディーゼル機関及び発電機の耐震性についての計算書	P.11	荷重の組合せ方法を明確にするため、以下のとおり記載を修正しました。(下線部参照) (旧)に対して水平方向及び鉛直方向から作用するものとする。 (新)に対して水平方向及び鉛直方向から個別に作用させる。また、水平方向及び鉛直方向の動的地震力による荷重の組合せには、絶対値和を適用する。	2023/3/3	